



私たち医療スタッフは

- I、入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で手術が受けられるようにお手伝いいたします

- II、手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



シリコンバッグ 入れ替えを 受けられる

_____ さまへ

四国がんセンター
形成外科 病棟

主治医

受持ち看護師

2000年10月1日 作成

2017年8月16日 改定

医師にもらった手術説明書を貼りましょう

医師にもらった手術説明書を貼りましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として医療スタッフの目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標もあげています

入院は約10日間の予定です

手術後の回復は個人差があり、身体の状態によっては内容どおりに進まないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送れるようにサポートさせていただきます



入院日 月 日



今日の目標 入院生活、手術について、医療スタッフの説明を理解することができる

<時間>	<予定>
10:00	入院、検温、血圧測定、身体測定
	※看護師より入院生活の説明と患者さんご自身のことについて確認させていただきます。 ・病棟案内、パンフレットについて説明 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
12:00	昼食
14:00	検温
	※医師から手術について説明致します (手術前日に行うこともあります) ・手術同意書にサインを頂きます
18:00	夕食
	※手術後に使用するサポーターをお渡しします (これは、胸に入れたシリコンバッグが移動しないよう術後、胸に着用するものです)
21:30	消灯
	※現在内服している薬があれば、手術の前に確認致します のでお知らせください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

【医療スタッフの目標】
安心して入院生活を送れるよう説明いたします



シリコンバッグ入れ替え手術

胸部に入れて生理食塩水で十分ふくらませたエキスパンダーをシリコンバッグに入れ替える時期がきました

形成外科外来受診時にあなたと一緒にシリコンバッグの大きさ・形を検討して、用意してあります

今回は組織を拡張するために入れておいたエキスパンダーを取り出して、このシリコンバッグと入れ替える手術を行います

実際の手術方法

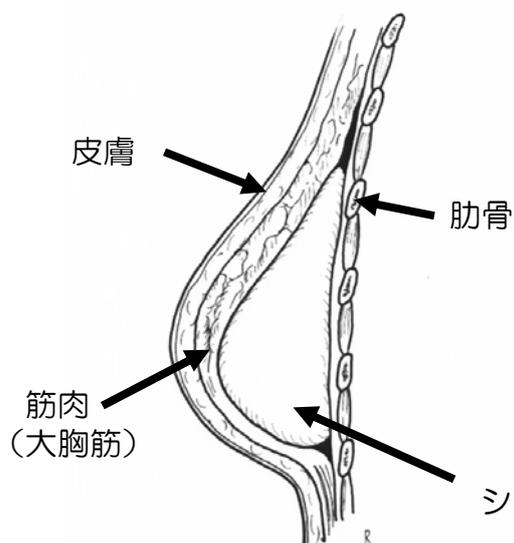
エキスパンダーを取り出した後のポケットは理想的な位置や大きさになっていないとは限りません

そこで今回の手術では、まずこのポケットの修正を行います

位置がずれたり小さくなってしまったポケットを内側から切開して、広げてから生理食塩水入りバッグまたはシリコンバッグを入れることとなります

目安として反対側の乳房下溝（乳房のふくらみの一番下）より少し下までポケットを作ります

これは術後にポケットが小さくなりバッグの位置が微妙に上方へ移動してくるからです



図のように皮膚と筋肉の下で肋骨の上にシリコンバッグが入ります

術後は胸に入れたシリコンバッグが移動しないようにサポーターを着用する場合があります

手術前日 月 日



今日の目標 手術を受けられるように体調を整えることができる

<時間> <予定>

6:00	起床
7:30	朝食 普通食が出ます
10:00	検温
12:00	昼食
18:00	夕食
21:00	21時以降は絶飲食です 手術が午後予定の方は翌朝6時までは飲水してもかまいません

<必要物品の確認>

- 手術用の寝巻き
- バスタオル、タオル 各1枚
- ティッシュペーパー
(使用中のものでも構いません)
- 曲がるストロー
- コップ (割れないもの)
- ビニール袋 2枚

<手術前処置>

1. 手術する側の脇の除毛をします
2. 寝たままでうがいの練習、深呼吸、体位変換の練習をしましょう
手術後は、絶飲食・麻酔の副作用で口が乾きます
また、口腔内の清潔保持のため、意識がはっきりしたらうがいをします
3. 処置が終われば入浴、またはシャワー浴をしましょう
爪を切り、マニキュア・ペディキュア・ジェルネイル・スカルプネイルを
されている方は落としておいてください
また、まつげのエクステンションをされている方はお知らせください
指輪・入れ歯・コンタクトなど、手術当日には外してください
手術当日、お化粧はしないでください
4. 手術室の看護師が手術室での流れを説明します
5. 内服している薬がある場合は看護師が薬を預かります

<活動>

- 活動に制限はありません
- 夜、眠れそうにない場合には安定剤（睡眠剤）をお渡しします
看護師までお知らせください

【医療スタッフの目標】
安心して手術が受けられるよう援助いたします



手術当日 月 日



手術前の目標 予定通りに手術を受けることができる

手術前

<時間> <予定>

6:00	起床 体温、血圧測定 洗面、歯磨きを済ませてください 医師より内服の指示がある方は、 少量の水で内服してください
8:30	形成外科外来で写真撮影と 乳房位置確認のために印をつけます
10:00	点滴 朝から絶飲食のため点滴が1～2本あります 手術室に行く準備 トイレを済ませてください 体温、血圧測定をします 手術用の服に着替えていただきます 手術着はお持ちします 術前に選択された方法 (歩行・車いす・ベッド)で手術室へ行きます

MEMO

気になることや症状など
書き留めておきましょう

手術室へ行く前は、身につけている金属類などを外して準備してください
(眼鏡、指輪、ネックレス、ピアス、ヘアピン、時計、義歯、コンタクトレンズなど)
貴重品は、ご家族の方が保管してください
手術当日、お化粧はしないでください

— ご家族の方へ —

手術中はどなたか一人は必ず病棟の食堂か病室にてお待ちください
手術後、主治医から手術の結果について説明がありますが、他の方の手術の関係で
手術後すぐに主治医が説明できないことがあります
説明があるまでお待ちになってください
夜、付き添われる場合は看護師にお知らせください

【医療スタッフの目標】
安全に手術が行われるように援助いたします





手術後の目標

痛みを我慢せず医療スタッフに伝えることができる

手術後

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

体温・血圧測定

- ・状態観察のため、帰室時、帰室後30分後、1時間後、2時間後、3時間後、6時間後と21時及び24時には測定にうかがいます（これ以外にも必要な時に測定します）

うがい

- ・術後2時間経過し、目が完全に覚めていたらうがいをします
初回は看護師がお手伝いします

体動

- ・本日はベッド上で安静となりますが、床ずれや腰痛予防を兼ねて、2時間後より体の向きを変えます
術後6時間後、特に問題がなければ60度まで体を起こしていきます

酸素吸入・深呼吸

- ・麻酔が完全にさめるのを助けるために、マスクを使用し3時間酸素吸入をします
目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

点滴

- ・絶飲食のため、手術後も点滴があります

飲水・軽食

- ・帰室6時間後に飲水が許可になります その際は看護師が介助します
その後、問題なければ軽食も開始になります
（軽食は事前にご準備ください）
手術後なので食べたくなければ無理に食べる必要はありません

尿管

- ・手術中の清潔保持、手術後の安静保持のため、手術中に尿の管が入ります
（翌日の10時頃には抜けます）

吸引バッグ

- ・傷を治りやすくするため、創部に血抜き管が5日間ほど入ります
ひっぱったり、抜いたりしないようにしましょう

痛み

- ・痛みは我慢しないでください
状態により、痛み止めをします

【医療スタッフの目標】
術後合併症がおこらないよう注意します
床ずれの予防に努めます



術後1日目 月 日



今日の目標 尿管を抜いてトイレまで歩くことができる
安静時に痛みなく過ごすことができる
ドレーンの取り扱い方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床、検温 吸引バッグの排液量計測、尿量の計測 ベッドを90度まで起こして温タオルで顔を拭きます
7:30	朝食（ベッド上で）食事は普通食が出来ます 医師の指示で内服薬再開になります 鎮痛剤・胃薬・抗生剤の内服の内服が始まります （5日間、朝昼夕食後に飲みましょう）
9:30	回診
10:00	検温、吸引バッグの排液量計測 *胸に入れたシリコンバッグが移動しないようにサポーターを着用する場合があります （着用日は、傷の状態によって変わることがあります） 午前中に尿管を抜きます 最初に歩く時は看護師と一緒にいきます 身体を拭きます。着替え（下着・パジャマ）を準備してください
12:00	昼食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
14:00	検温
16:00	吸引バッグの排液量チェック
18:00	検温、夕食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
21:30	消灯、吸引バッグの排液量チェック

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

【医療スタッフの目標】

尿管を抜いて安全に移動できるようお手伝いいたします
床ずれの予防に努めます



術後2日目 月 日



今日の目標 痛みがあれば知らせることができる
清拭や下半身シャワーができる
ドレーンの取り扱い方法がわかる

<時間>

<予定>

6:00	起床、吸引バッグの排液量計測
7:30	朝食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
9:00	回診
10:00	検温、吸引バッグの排液量計測 形成外科医の診察 ガーゼをはずします
12:00	昼食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
午後	洗髪（シャンプー台で看護師がお手伝いします） 上半身清拭（できるところは自分で拭きましょう） 下半身シャワー
16:00	吸引バッグの排液量チェック
18:00	夕食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
21:30	消灯、吸引バッグの排液量チェック

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



【医療スタッフの目標】
傷の周りの皮膚の色に変化がないよう注意いたします

術後3日目

月 日



今日の目標 痛みがあれば知らせることができる
清拭や下半身シャワーができる
ドレーンの取り扱い方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床 吸引バッグの排液量計測
7:30	朝食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
9:00	回診
10:00	検温 吸引バッグの排液量計測 形成外科医診察
12:00	昼食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
午後	洗髪、上半身清拭、下半身シャワー
16:00	吸引バッグの排液量チェック
18:00	夕食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
21:30	消灯 吸引バッグの排液量チェック

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

【医療スタッフの目標】
傷の周りの皮膚の色に変化がないよう注意します
手術の傷に、赤み・痛みがないよう援助します



術後4日目 月 日



今日の目標 痛みがあれば知らせることができる
清拭や下半身シャワーができる
ドレーンの取り扱い方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床 吸引バッグの排液量計測
7:30	朝食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
9:00	回診
10:00	検温 形成外科医診察
12:00	昼食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
午後	洗髪、上半身清拭、下半身シャワー
18:00	夕食（食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう）
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

【医療スタッフの目標】
傷の周りの皮膚の色に変化がないよう注意します
手術の傷に、赤み・痛みがないよう援助します



術後5日目 月 日



今日の目標 吸引の管が抜ける
全身シャワーができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 吸引バッグの排液量計測
7:30	朝食 (食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう)
9:00	回診
10:00	検温 形成外科医診察 抜糸 吸引の管を抜きます (排液量が多い場合は抜かないこともあります)
12:00	昼食 (食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう)
午後	全身シャワー 管が抜けなかった場合は、洗髪、上半身清拭、下半身シャワー 看護師が退院後の生活について説明をします
18:00	夕食 (食後に鎮痛剤、胃薬、抗生剤を内服しましょう)
21:30	消灯

傷の状態により糸を抜きます
糸を抜いた後に傷のテーピング
指導を行います

※抜糸後のテーピングを参照

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

【医療スタッフの目標】

傷の周りの皮膚の色に変化がないよう注意します
手術の傷に、赤み・痛みがないよう援助します





今日の目標 退院指導の内容を理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温
	形成外科医診察 吸引の管を抜きます (排液量が多い場合は抜かないこともあります)
12:00	昼食
午後	全身シャワー 管が抜けなかった場合は、 洗髪、上半身清拭、下半身シャワー
	看護師が退院後の生活について 説明をします
18:00	夕食
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など
書き留めておきましょう



【医療スタッフの目標】
傷の周りの皮膚の色に変化がないよう注意します
手術の傷に、赤み・痛みがないよう援助します

退院日



今日の目標

退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温
	形成外科医診察
	退院

次回形成外科外来予約日は

月 日 の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります
(状況に応じて検査があります)

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

【医療スタッフの目標】
退院後の生活について不明な点があれば説明します





MEMO

A large, empty rectangular area with rounded corners, outlined in a thick magenta line, intended for writing a memo.



疑問に思ったこと、質問したいことなど…
メモ用紙としてご利用ください

抜糸後のテーピング

抜糸後、傷あとにテープを貼ることでケロイドになったり、傷あとが幅広くなることを防ぐことができます

テーピングは、2ヶ月から数ヶ月程度行います

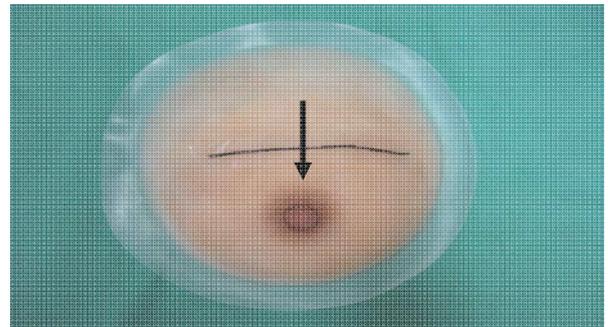
肌に優しい「マイクロポア」という幅25mm薄茶色のテープを院内にて販売しております

《テープの貼り方》

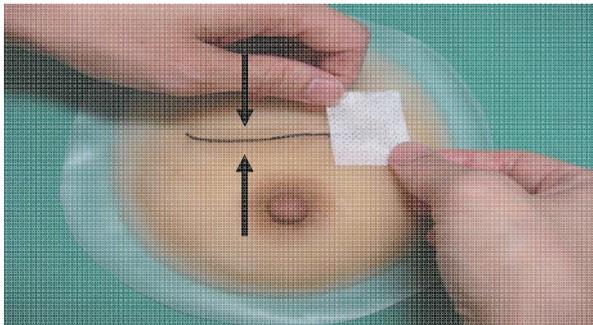
①3、4cmの長さに切ったテープを数本準備します



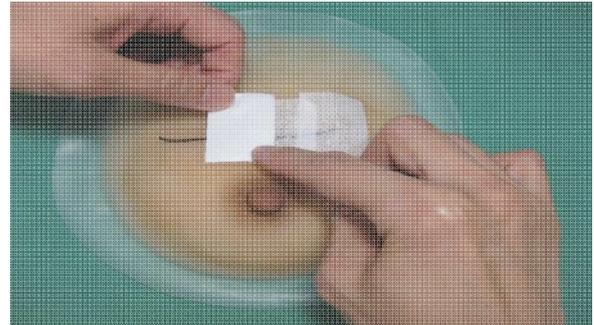
②写真のように傷に垂直になるようにテープを貼っていきます



③まず傷の片側にテープを貼ります
傷の片側から傷あとにむかって両方の皮膚を少し寄せるようにして貼ります



⑤隣のテープに少し重なるように傷の端から端まで貼っていきます

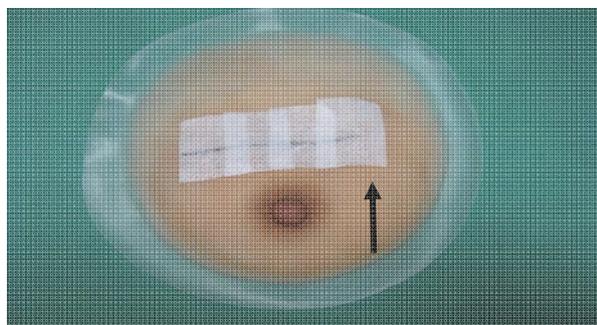


⑥傷を全部覆うように貼って終了です

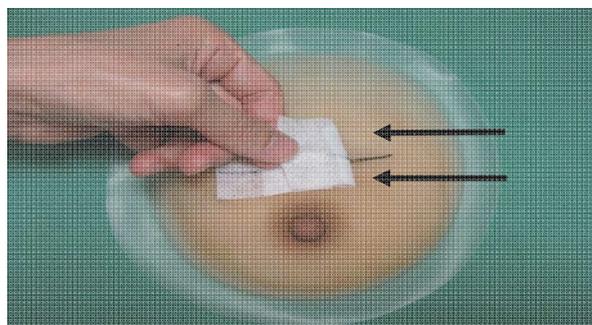


《テープのはがし方》

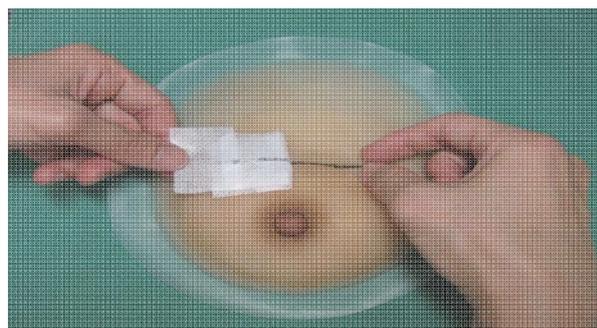
①重なっているテープの一番下から剥がします



②傷と平行に引っ張って剥がしていきます



③剥がす時は、もう一方の手で傷がひっぱられないように保護しながら剥がします



④テープを全部剥がし終わったら終了です
傷を洗いましょう



※重なっているテープの一番下になっている方からはがすとつながってはがれていきます
※はがすときは、傷と平行に引っ張り、もう一方の手で傷がひっぱられないように保護しながらはがしてください

テープは毎日貼り替えるのではなく3~4日毎に貼り替えてください
はがれがなくしっかり貼れているのであれば、1週間までそのままでもかまいません

入浴はテープを貼ったまま、おこなってかまいません

貼り替える日に入浴される場合は、全部はがして入浴をし、皮膚をきれいにしてから貼りましょう

傷のまわりは優しく洗いましょう

皮膚がかぶれた場合はテーピングを中止して医師に相談してください

傷の治りが悪い場合はテーピングの時期が遅れることがあります



退院後の注意点

ブラジャーの着用開始

- ワイヤーのないソフトブラジャーは、退院後から着用できます
ワイヤーのあるブラジャーは感覚が戻ってからになりますので、
医師の許可を確認してください

術後の生活について

- 日常生活に特別な制限はありませんが、
腕を動かす激しいスポーツなどは
3ヶ月間は控えてください



再建乳房の保護

- シリコンバッグは多少の圧迫では破裂しませんが、強くぶつけたりすると破損することもありますので、気をつけてください

手術した部分の皮膚や痛みについて

- 退院する時と比べて傷が赤くなったり、腫れや痛みが強く出現した際は、当院に連絡してください
連絡先は最終ページにあります

MEMO



ご心配な点があれば、がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝祭日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112

シリコンバッグ入れ替え術を受けられる方へ